

令和5年度子どもファースト事業 対象事業内容

令和5年度第1回
八戸市子ども・子育て会議

資料2

第7次八戸市総合計画 未来共創推進戦略2023【戦略6-1】登載事業

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
1	子ども医療費助成事業	中学生までの児童については入院・通院とも、高校生については入院のみ、子どもの医療機関での保険診療分の一部負担金(未就学児は2割、小学生以上は3割)を助成する。 ※令和6年1月から保護者の所得制限を撤廃予定。	・受給者数(R4.4.1時点) 14,206人 ・R4年度給付実績 409,746,290円	子育て支援課
2	八戸市次世代エール商品券発行事業	地域内の消費を喚起するとともに子育て世帯等への経済的支援として、若年層を対象としたプレミアム商品券を発行する。	※令和5年度新規事業	商工課
3	健康教育事業(母子)	子育てや健康等に関する正しい知識の普及啓発を図るため、保健師・栄養士を派遣し、「子育て出前講座」を実施する。	※令和5年度新規事業	すくすく親子健康課
4	母子健康診査事業	乳児期の健康管理を推進するため、自己負担なく健診等を受診できるよう、次のとおり助成する。 ・新生児聴覚検査1回あたり上限4,000円を助成する(再検査のときは2回まで)。 ・乳児一般委託健康診査及び精密検査の受診票を3枚から4枚に追加する。 ・先天性股関節脱臼健診の自己負担分600円を全額助成する。	※令和5年度新規事業	すくすく親子健康課
5	子ども家庭総合支援拠点事業	八戸市内の子どもとその家族及び妊産婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行い、要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図る。	相談対応件数 314件 (児童虐待相談168件、その他養護相談105件、育成相談34件、その他の相談7件)	こども家庭相談室
6	こどもの国大型複合遊具設置事業	こどもの国のさらなる魅力が向上するよう、子どもファーストの視点に立ち、年齢や体力、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが楽しく遊ぶことが出来るインクルーシブの考えを取り入れた遊具を配置する「インクルーシブゾーン」、怖そうだけど挑戦してみたいという子どもたちの好奇心をくすぐるような、よりアクティブな遊具を配置する「アクティブゾーン」を整備する。	「インクルーシブゾーン」 ・大型複合遊具 ・樹木移植、造成 ・ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」 ・大型複合遊具一部 ・ベンチ	公園緑地課
7	市民で賑わう公園魅力向上事業	『市民で賑わっているから、子供を一人で遊びに行かせられる公園』を目指し、次の3つを併せて実施することにより、公園の魅力向上を図り、市民で賑わう公園とする。 【事業内容】 ①樹木管理、草刈り、清掃などの包括管理業務委託の再編・拡充 ②八戸市公園樹木管理計画の策定 ③公園施設の充実及び未整備公園の早期整備	※令和5年度新規事業	公園緑地課
8	児童科学館改修事業	・利便性及び快適性向上のために、空調設備を整備するとともに、トイレを全面改修する。	※令和5年度新規事業	総合教育センター

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
9	文化芸術推進事業	<p>①小・中学生を対象に、芸術文化に関連したワークショップ等を開催し、最後に発表会や展示等を行う。</p> <p>②市公会堂において、小・中学生を対象としたバックヤード見学ツアーや、照明、音響を使用した体験プログラムを開催する。</p> <p>③本を読む、書くことに関する企画事業を開催する。</p> <p>④小中高の教員と美術館学芸員、専門家でプロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表を行うなど、教育普及事業を行う。</p>	<p>①市民参加型の演劇ワークショップとして、小学生から中学生を対象としたうみねこ演劇塾(ジュニア塾)及び、成果発表として「うみねこ演劇塾発表会」を開催。 期間:R4.10.8~R5.1.6(最終日は発表会) 場所:八戸市公民館 参加者:延べ231人</p> <p>②親子参加型の企画として「公会堂探検隊2022」を開催。 開催日:R4.8.9 場所:八戸市公会堂 参加者:33人(子ども18人、大人15人)</p> <p>③ショートショート作家の田丸雅智氏を講師に招き執筆に関するワークショップを開催 開催日:R5.3.25~26(2日間の連続講座) 場所:番町サテライトキャンパスばんらぼ 参加者:市内高校生23名</p> <p>④美術館 ・「まるごと馬場のぼる展」において「小中高合同鑑賞会」を実施。小中学生、高校生の混合グループを作り、高校生がリーダーとなって対話型鑑賞を行った。 開催日:R4.8.10 場所:八戸市美術館 参加者20人 ・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」が「とれたて!すまぁ〜と!」第2号を発行。アーティストや周辺店舗への取材を行い記事を作成。 開催日:R4.11.3~R5.3.31 場所:八戸市美術館 参加者:16人</p>	文化創造推進課
10	子育て情報整備事業	・子育て世代を対象に、子育てに関する多様な情報や地域の子育て情報を発信し、子育て世代の負担感軽減や子育て環境の充実を図り、妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報Webサイト「はちすく」の運営 ・「はちすく通信LINE」による情報発信 ・子育てアプリ「はちも」運用開始(R4.8.19) 	子育て支援課
11	市政情報発信力の強化事業	子ども・子育て施策や市の重点施策を周知し理解を深めてもらうため、子育て世代をターゲットに広報はちのへ紙面をリニューアルする。	※令和5年度新規事業	広報統計課

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
12	保育士資格等取得支援事業	・保育所等に勤務している保育士資格・幼稚園教諭免許の一方のみを有する者に対し、2つの資格を併有する保育教諭の人材確保を促進するために、受講料や代替保育士雇い上げの一部を補助する。	令和2年度 ・幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援:1施設1名 ・保育士資格を有する者の幼稚園教諭免許状取得支援:1施設1名 ・保育士等として勤務する者の幼稚園教諭免許更新支援:6施設11名 令和3年度 ・保育士等として勤務する者の幼稚園教諭免許更新支援:2施設4名 令和4年度 実績なし	こども未来課
13	保育士修学資金貸付金事業	・保育人材確保のため、指定保育士養成施設に在学する者のうち、卒業後に市内の保育所等に保育士として勤務する意志のある者に対し、修学資金を貸与する。 ・貸与額:月額4万円(無利子)・募集人数:8人 ・貸与期間:貸与決定年度の4月から卒業する月まで(上限24か月) ・全額免除要件:卒業後1年以内に市内保育所等に常勤の保育士として就職し、5年間従事した場合。	応募者:5名 決定者:5名 令和3年度卒業者6名中、6名が市内保育所等保育士として勤務。	こども未来課
14	保育施設等整備事業	児童の安全な保育環境の確保、良質かつ効果的な教育及び保育の実施のため、就学前教育・保育施設の整備等に要する費用に対し、補助金を交付する。	2施設 ※毎年度2施設を対象に実施	こども未来課
15	病児保育ネット予約サービスの導入(病児・病後児保育事業)	スマートフォンなどを利用して病児・病後児保育の予約やキャンセルを行うためのシステムの導入費用等を病児・病後児保育事業実施施設に対し補助する。	※令和5年度新規事業	こども未来課
16	軽・中程度障がい児保育事業	・健康面や発達面において特別な支援が必要な児童の集団教育・保育のための保育士等の配置に必要な経費等を補助する。 <中程度障がい児保育事業> 保育士等1人につき児童2人まで 補助基準額:月額106,000円×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 保育士等1人につき児童4人まで 補助基準額:月額53,000円×各月初日現在の対象児童数×入所月数	<中程度障がい児保育事業> 実施施設数:5か所 受入児童数:7人 延月数:83月 <ふれあい保育事業> 実施施設数:10か所 受入児童数:18人 延月数:182月 ※上記数字は交付申請時点(R5.2)の見込み	こども未来課

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
17	医療的ケア児等総合支援事業	医療的ケア児とその家族を支援するため、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けるとともに、医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置する。 <協議の場の設置> 保健・医療・福祉・子育て・教育等の各分野の関係機関等が集まり、地域の現状把握や分析、連絡調整、支援内容等、地域全体の医療的ケア児とその家族が直面する課題及びその対応策の検討を行う。 <コーディネーターの配置> 保健・医療・福祉・子育て・教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ医療的ケア児等コーディネーターを配置する。	<協議の場の設置> 医療的ケア児支援検討会議開催(令和5年2月13日) <コーディネーターの配置> ※令和5年度新規事業	障がい福祉課
18	医療的ケア児保育支援事業	・医療的ケア児の保育所等への受入体制を整備する。 ・医療的ケア児を受け入れる保育所等が、支援のための看護師を配置する費用等に対して、補助金を交付する。	※令和5年度新規事業	こども未来課
19	送迎用車両安全装置導入支援事業	認定こども園等や障害児通所支援事業所に通う子どもの送迎時の車両への置き去りを防ぐため、送迎バス等車両の安全装置装備にかかる費用について、その一部又は全部を補助する。 <対象事業所数(令和5年4月1日現在)> ・認定こども園 6事業所 ・認可外保育施設 1事業所 ・児童発達支援事業所 14事業所 ・放課後等デイサービス事業所 42事業所 <補助額> 175千円以内(1台当たり)※予定	※令和5年度新規事業	こども未来課 障がい福祉課
20	小・中学校整備事業	①大規模改修・営繕工事 (学校施設の経年劣化箇所の修繕及び利便性向上のための営繕) ②冷房設備設置事業 (学校の普通教室・職員室・校長室に冷房設備を新設) ③防音機能復旧事業 (防衛省の補助により防音仕様の校舎を整備した学校における老朽化した温風暖房機・空調換気設備の更新)	①八戸小屋内運動場床改修工事、函南小防砂ネット改修工事、根城中特別教室棟等屋上防水改修工事 ②18校設置完了(小学校11校、中学校7校) ③市立下長小学校の温風暖房機・空調換気設備を更新中(R5年度完了予定)	教育総務課
21	通学路等区画線設置事業	・市内の小中学校68校のうち53校において、学校周辺の通学路における白線等の路面標示について、消えたり薄くなっていることから引き直しする必要があり、その学校や地域の特性に応じた優先順位付けにより、計画的に実施することで、登下校時の児童や生徒の安全確保を図る。 ・小学校42校のうち35校 ・中学校26校のうち18校	※令和5年度新規事業	道路維持課

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
22	幼保小連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校の教職員が、子どもの発達や互いの教育内容についての連携を深め、幼児児童の学びの連続性を図る。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ①幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校の各代表、保護者、八戸学院大学短期大学部教授、幼児教育アドバイザーによる代表者会議の開催 ②入学予定幼児の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布 ③幼保小連携研修講座の開催 ④オープンスクールの開催 ⑤小学校区を中心とした地区会の開催 ⑥小学校スタートカリキュラムの整備 ・こども支援センターの幼児教育アドバイザーと連携。 	代表者会議(2回)、入学予定幼児の保護者向けパンフレット配布、幼保小連携研修講座、地区会(年間を通じて各小学校区にて)の実施	教育指導課
23	広域的体験学習支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸圏域連携中枢都市圏内の小学生が、文化・スポーツ等の公共施設を利用した体験活動を行う際のバスの借上料及び施設入場料(使用料)を負担する。 ・八戸圏域連携中枢都市圏内の中学生が、企業訪問等の社会体験活動を行う際のバス借上料を負担する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市内小学校42校中42校が実施。実施率100%、参加児童数のべ3850人。 ・八戸市内中学校24校中9校が実施。実施率38%、参加生徒数587人。 	教育指導課
24	地域密着型教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者及び地域住民が学校運営に参画する「地域学校連携協議会」を各学校に設置し、地域住民等と学校との連携・協働による「開かれた学校づくり」を行う。 ・各学校にコーディネーターを配置し、郷土や地域に関する学習における学校支援ボランティアの活用を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で地域学校連携協議会を年間2～3回実施 ・コーディネーターを対象として、研修会を年5回実施 ・各学校でコーディネーターを通じて、学校支援ボランティアを募集・活用 	教育指導課
25	GIGAスクール構想推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報活用能力(情報モラル、プログラミングを含む)の育成を目指し、教職員のICT活用指導力向上に向けた授業改善や校内研修における実践的研究を支援する。 ・学校のICT環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修31回・研修講座5回開催157名参加 ・GIGAスクール運営支援センター運用開始。 ・小・中学校66校の特別教室ネットワーク環境整備。 ・教職員用端末Chromebook782台整備。 	総合教育センター
26	教職員研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び続ける教師 学びを生かす教師集団」を目指し、学校教育課題の解決に資する研修内容を実施する。 ・令和4年度から幼保小連携推進事業関連講座等を拡充。 	<ul style="list-style-type: none"> ・68講座を実施。 ・幼稚園・保育所(園)・認定こども園と小学校の望ましい連携の在り方について学ぶ「幼保小連携研修講座」ほか、8講座を幼保小連携推進事業関連として実施。 	総合教育センター
27	放課後児童健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が就労等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童を対象に、授業終了後等に小学校の余裕教室、保育園、民間借用物件等を利用して適切な遊びを中心とした生活の場を提供する。 クラブ数:49(令和5年度は長者小学校区1クラブ増) 登録児童数:1,938人(R5.4.1現在)	クラブ数:48	子育て支援課

事業番号	事業名	事業内容	令和4年度実施内容	担当課
28	特別支援教育推進事業	小学校・中学校からの依頼に対し、主任指導主事等及び学校体制支援アドバイザー、専門指導員による巡回相談を実施し、支援方法や支援体制に関わる指導助言を行う。 ・幼稚園・保育所・認定こども園からの依頼に対し、幼児教育アドバイザー及び幼児相談員による巡回相談を実施し、支援方法や支援体制に関わる助言を行う。 ・子育てや子どもの発達、就学に関わる保護者の相談に対応する。 ・ことばの発達等に心配のある幼児の保護者等に、適切な対応方法等について助言を行う。	・小中学校及び幼稚園・保育所・認定こども園に対する巡回相談件数(延べ):641件 ・相談件数(延べ):3930件	こども支援センター
29	国際理解教育・英語教育推進事業	・英語教育を中核とした国際理解教育を通して、多様な人々と目的に応じたコミュニケーションを図れるような資質・能力を育成するため、研修体制を整備しながらALTの活用を推進する。 ・小学校の外国語科(英語)・外国語活動の授業、中学校の外国語科(英語)の授業への補助 ・小・中学校の国際理解教育に係る授業への補助 ・市民公開研修(市民英会話教室)の講師	ALT 20名 ・1校当たり平均訪問回数 年68.7回 ・市民英会話教室 2日開催 63名参加。講師としてALT20名が参加。	総合教育センター
30	青少年海外派遣交流事業	・青少年の海外派遣と海外の青少年の八戸市訪問受入れを行い、学校等における交流活動や、産業・文化・教育施設の視察、ホームステイなどの交流により、国際的視野を広めて、国際協調の精神を養う。 ・歴史、文化、産業、教育等の視察や、相互の親善交歓を通して、世界各都市との友好を促進する。 交流都市:蘭州市(中国)、フェデラルウェイ市・ポートランド市(アメリカ)、ヌメア市(ニューカレドニア)	新型コロナ感染症の影響により事業中止	教育指導課
31	学校図書館支援事業	・市立小・中学校に学校司書を派遣し、学校図書館の活用と環境整備を促進する。	・学校司書10名を小学校39校、中学校19校へ派遣 ・「マイブック推進事業」と連携し、「出張ブックトーク」を実施	教育指導課
32	小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	・市立中学校に部活動指導員を配置し、指導体制の充実及び質的向上を図る。 ・市立小・中学校のスポーツ・文化活動に関わる外部指導者に対し、傷害保険料の支援を行う。 ・地域スポーツ・文化活動検討協議会を設置し、中学校部活動の円滑な地域移行に向けて調査及び検討を行う。	・部活動指導員を8名配置 ・外部指導者517名の保険料を全額負担 ・地域スポーツ・文化活動検討協議会設置準備	学校教育課
33	子ども食堂支援事業	・八戸こども宅食おすそわけ便の広報・周知の支援 ・食材等を寄付したい方とこども食堂(現在はこども宅食)実施団体のマッチング ・こども食堂やこども宅食の利用者の中で、特に「気になる」児童がいた場合の連絡体制の整備と必要な福祉サービスの案内	・八戸こども宅食おすそわけ便(偶数月6回)の周知 ・食材提供希望者とのマッチング ・実施団体への後援	子育て支援課